

ヘリコプター搭乗体験

(東金第1団 ローバースカウト) 宮本 晶

4月16日、嶋田隊長にお誘いいただき、航空自衛隊のヘリコプター(CH47JA:チヌーク)に搭乗させていただきました。場所は霞ヶ浦駐屯地。ヘリコプターを整備する航空自衛官を育てる学校がある所です。

受付を終えると、自衛隊用の消防車とヘリコプターの滑空を見ることが出来ました。消防車のタイヤはくまスカウトくらいの大きさで、このタイヤで1万8000Lの水と720Lの消火剤を運びます。

搭乗にあたって、注意事項は予め説明されます。私たちが乗った機体はタンデムローターといって、前後にローター(羽)がついています。後ろから搭乗するのにローターとエンジンの排気ダクトから強い排気熱が当たります。もちろん、旅客機ではないのですごい音がします！本当に鼓膜が破れるらしいので迷彩の耳栓が配られました。機内でドキドキしながらフライトを待っていましたが、離陸は地上を離れたのが分からないくらい丁寧で、技術の高さに驚きました。そこから高く飛び、小さくなった住宅街や基地を眺めることが出来ました。基地の上空をぐるっと飛び、回転して着陸しました。

約10分という決して長くはないフライトではありましたが、貴重な体験をさせていただきました。フライト後も飛び立つヘリコプターや展示された機体と写真撮影を楽しみ、登場体験は終了しました。

ヘリコプターのホバリング(空中で止まる)というのはとても難しいらしいのですが、OBの方が「最新のヘリは自動でホバリングできるんですよ。俺はピッタリ止まれるけど、あれはヘタクソでもできる」と教えてくださいました。